

令和8年第1回高森町定例会一般質問

令和8年3月11日 午前9時 開議

会場：高森町役場 議場

順序	氏名	質問事項
1	本島 未来	I 学校給食費の抜本的負担軽減（令和8年度開始）への対応について
2	齋藤 天	I 高森町の教育現場の現状は
3	木村 典雄	I 公共施設等総合管理計画に基づく公共建築物の今後の対応について II 情勢に合った当町の平和への取り組みの発展について
4	福沢 嘉言	I 指定管理者制度について
5	佐々木 宣之	I 町の防災・減災に関する環境整備と災害伝承について
6	木下 香乃	I 「町民起点で共に創る元気な町」について問う
7	原 敏明	I 温泉をどう楽しむか 信州たかもり温泉の温浴棟の改修にあたり考える
8	河合 隆俊	I ユースセンター（若者の居場所）の推進について
9	久保田 稔	I 町民の健康寿命とゴルフについて

以上 計9名

令和8年2月24日

高森町議会議長 木下様

高森町議会議員 本島 未来 印

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問項目 I 学校給食費の抜本的負担軽減(令和8年度開始)への対応について	
【1回目質問要旨】	【2回目以降】
(1) 現行の給食費の実態と、町内児童生徒数に基づく年間総額について伺う	① 国基準補助月額 5,200 円に対する本町の方針を伺う ② 町の財政負担(独自補助等)の見通しを伺う ③ 非喫食者への対応をどのように整理するのか伺う ④ 農業振興と連動した地産地消強化の取り組みと「負担軽減」と「質向上」を両立する具体策を伺う ⑤ 給食費無償化に対する町の政策哲学を伺う
(2) 「第4次高森町食育推進計画」との整合性をどのように担保していくのか	① 保護者および子どもを対象とした、給食や食育に対する意識調査を実施すべきと考えるが町の見解を伺う ② 家庭における食育への関与や責任意識にどのような影響を及ぼすと考えるか、町の認識を伺う ③ 将来の食育水準を維持・向上できるとの具体的な財政的裏付けと理念・財政規律・教育水準を同時に成立させる根拠を伺う

※別途資料を利用して質問する場合は、質問の正副議長確認時に合わせて確認を受けること

令和 8 年 2 月 24 日

高森町議会議長 様

高森町議会議員 齋藤 天 印

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

<p>質問項目 I</p> <p>高森町小中学校運営協議会を傍聴し、教育委員会、学校、保護者など子ども達の教育に直接関わる方々が、ワークショップなどにて活発に意見交換が行われており、とても素晴らしい活動だと感じた。またその後に懇談会も設けられ、お互いのパーソナルスペースを超えての意見交換や人と人の心を通わせる交流ができるのでは？ととても今後が楽しみになりました。そこで、高森町の教育現場の現状とこれからをお聞きしたい。</p>	
<p>【1 回目質問要旨】</p>	<p>【2 回目以降】</p>
<p>(1) 高森町小中学校運営協議会はいつからどんな目的で始まったか。</p>	<p>① 運営協議会の現在の課題、今後の予定と現場の声、改善点は。</p> <p>② 「よりよい教育活動のためのアンケート」の目的、分析結果、改善点は。</p>
<p>(2) TOCO-TON 運営についての取組と今後の予定は。</p>	<p>① 家庭教育との連携は。</p>
<p>(3) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律の概要が出されたがその内容は。</p>	<p>① (1)(2)の運営なども含め就業時間などを減らすのは難しいと感じるが、課題と解決策は？</p>

※別途資料を利用して質問する場合は、質問の正副議長確認時に合わせて確認を受けること

令和 8年 2月 24日

高森町議会議長 木下啓爾様

高森町議会議員 木村 典雄 印

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問項目 I 公共施設等総合管理計画に基づく公共建築物の今後の対応について	
【1 回目質問要旨】	【2 回目以降】
<p>(1)当町では「公共施設等総合管理計画」等において「定期的見直し」をすることが定められている。各計画は「公共施設等総合管理計画」(令和4年3月改訂)、「公共施設個別施設計画」(令和2年3月策定)、「学校施設長寿命化計画」(平成31年3月策定)、「保育施設等長寿命化計画」(令和2年3月策定)となっている。策定・改訂後3年から7年を経ているが、それぞれの計画の見直しはいつになるか。</p> <p>(2)当町には公共建築物で土砂災害警戒区域に入っている施設がある。長寿命化計画と地域防災計画の「災害予防」との関係はどのようになっているか。</p>	<p>①「集会施設」が町内に64施設ある。その2/3ほどの施設は令和11年までに「地元管理団体の意向を踏まえ」て「建て替えを検討」となっている。どのような手続きで進めるのか。</p> <p>②下市田保育園は長寿命化改修が行われた。「2033 年建替計画」はどう変更されるか。</p> <p>③山吹保育園は一昨年に「長寿命化改修」が計画されていたが、延期か計画内容の変更か。</p> <p>④南・北小学校は「長寿命化改修」をしたが、それでも厳しい財政状況が予想されるとして、さらに事業費を抑制する必要があると記載されている。「事業費抑制」の具体的内容は。</p> <p>⑤やすらぎ荘の「長寿命化改修」の計画は「令和5年(別館)」「令和11年」とあるが、計画の実行はいつになるのか。</p> <p>⑥町営住宅は「県との協同建替を研究し、～建替えを実施する」とある。県との研究はどこまで進んでいるのか。</p> <p>⑦役場庁舎は令和18年に「大規模改造」「建替え」をするとある。事業の計画を問う。</p> <p>⑧町長は選挙公約で役場庁舎の分散化を挙げた。そのメリットとデメリットをどう考えるか。</p>
質問項目 II 情勢に合った当町の平和への取り組みの発展について	
<p>(1)国会情勢は「憲法 9 条改正」「非核三原則見直し」の声が大きくなってきた。米国の要求する軍事拡大路線を容認する勢力も増している。日本の平和が危ない状況を強く感じる。当町の平和への取り組みをこれまで通り続ける意思を確認する。</p>	<p>①町長は平和行進へのメッセージで「戦争や侵略行為を直ちに中止し、対話による平和外交での解決を強く求める」や「核兵器廃絶による世界平和のため力を尽くしたい」と表明した。この決意を現在も持たれているか。</p> <p>②町長の決意に共感する町民は多い。「平和へのかけはし条例」の理念は当町に浸透している。来年は町制70年となる。この節目に「平和の看板の新調」や「憲法9条の碑建立」等して平和の町を広くアピールする取り組みをしたらどうか。</p>



令和 8 年 2 月 24 日

高森町議会議長 様

高森町議会議員

福沢嘉吉



一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問項目 I 指定管理者制度について	
【1 回目質問要旨】	【2 回目以降】
<p>(1) どんな効果を期待して指定管理者制度を導入して来たのか。そして、その効果はどのように現れているか</p> <p>(2) 現在の指定管理者選定制度では、公募による方法しかないが、優良な指定管理者なら継続できる制度を考えたらどうか。</p> <p>(3) 公募企業からは指定管理料の希望額を聞いているが、年度協定書で決める管理料はどのような考えで決めているのか。</p> <p>(4) 町指導による指定管理者連絡会みたいなものを立ち上げ、指定管理者同士のコラボで、施設の有効活用と、自主事業の拡大を図るように支援したらどうか。</p>	<p>①高森町老人福祉センターと高森町デイサービスセンターは、やすらぎ荘の同じ屋根の下にあるのになぜ別々に指定管理させるのか。</p> <p>②両施設の指定管理者選定事務手続きをみれば、両施設とも一体として扱っている。一本化した指定管理にしたほう自然だ。見直して、一体として指定管理すべきと考えるがどうか。</p> <p>①当町の指定管理料の扱いには、年度末で清算処理を行っているものと、清算しないものがあるがなぜか。</p> <p>②指定管理者の企業努力に対するインセンティブは考えたうえで、過大な利益が出た場合は、町に還元する方式等を考えた清算方式にすべきと思うが。</p>

※別途資料を利用して質問する場合は、質問の正副議長確認時に合わせて確認を受けること

令和 8 年 2 月 24 日

高森町議会議長 様

高森町議会議員 佐々木 宣之

一般質問通告

次の事項について質問したいので通告します

質問項目 I	
町の防災・減災に関する環境整備と災害伝承について	
【1 回目質問要旨】	【2 回目以降】
(1) 町内において消火に十分な自然水利が確保できない難水利地区がある。今年1月31日に発生した住宅火災の地区は河川の不十分な場所である。以前は堤や南小学校のプールといった消防水利があった。今後の火災に備えた消火用水利の環境整備について町としての考えは。	① 今回、火災になった地区以外にも難水利地区がある。消火用水利としての貯水槽、または耐震性のある地下タンクの設置について町としての考えは。
(2) 火災の早期発見を目的に家庭用火災報知機の設置が呼びかけられて約20年が経つ。設置状況の把握と更新時期を迎えた報知器の周知について町としての取り組みは。	
(3) 36災害から今年で65年となり、次世代への伝承が重要であると考え。小・中学校の授業において学習機会はあるか。	① 町内各地に36災害の石碑がある。経年劣化した不鮮明な文字の修繕について町の対応は。 ② 町として過去の災害から防災・減災を学ぶような学習会を開催する考えはあるか。

令和8年2月24日

高森町議会議長 様

高森町議会議員 署名 木下 香乃

一般質問通告

次の事項について質問したいので通告します

質問項目 I 「町民起点で共に創る元気な町」について問う

【1回目質問要旨】	【2回目以降】
<p>(1)町長の考える「町民起点」とは「声を上げられる町民に起点と責任を委ねる」モデルなのか、「声を上げられない人も含めて“起点を生み出す仕組み”まで制度化したモデルなのかあるいはそれ以外の形なのかをお聞きする。</p>	<p>①「令和8年度予算の公開検討会」の中で、「町の方針として頑張っている人は応援するが頑張らない人は応援しない」という町長発言があった。町長の考える「頑張っている人」「頑張っていない人」それぞれの定義は。</p> <p>②町に意見を届けられない町民の声を拾い上げるため、新たな「意見表明の方法」や「参加の形」、「町との柔軟な関わり方」などの具体的な仕組みを考えているか。</p> <p>③町民から上がってきた提案に対し、「課題把握」「意思決定」「制度設計」「予算措置」「実施責任」「検証・改善」という過程があるが、その中で町は「どの段階で」「誰が責任主体として」「どう関与するか」また「どこから町民にゆだねるのか」といった行政の役割をどう考えるか。</p> <p>④町民起点で生まれた活動を「尊重する」だけでなく、「つなぎ」「支え」「育て」「広げる」役割を、町として制度化し、構造として作り上げる考えはあるか。</p> <p>⑤町民からの声の実現に際し、財源や人員不足を理由に実現が難しい場合でも、「別の形での支援」や「民間や外部との連携の提案」「検討の継続」など、町として伴走する姿勢が必要と考える。町長の見解は。</p>

※別途資料を利用して質問する場合は、質問の正副議長確認時に合わせて確認を受けること

令和 8年 2月 24日

高森町議会議長 様

高森町議会議員 原 敏明

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問項目 I 温泉をどう楽しむか 信州たかもり温泉の温浴棟の改修にあたり考える	
【1 回目質問要旨】	【2 回目以降】
(1) 湯ヶ洞温泉は、ラジウム源泉井戸を取得したことから、開設され、痛風、関節リウマチ、強直性脊椎炎などに効くとされてきた。近年濃度も下がり、湧き出す量も半減してきたが、湯ヶ洞の浴槽の 1/4 の容量の浴槽を使い加水料を減らせば、開業時と同じような温泉を楽しむことができると考えるがどうか。イベント湯の浴槽を源泉を楽しむように使えないか。	①源泉ポンプの交換や加水用井戸の掘削工事の結果がでないと水回りの詳細が描けないのではないのか。本体工事の関係はどうなっているのか。 ②源泉の使用料や井戸水の使用料は、把握されていくのか。 ③入湯税が戴ける温泉になるのか。
(2) サウナ浴のヒートショック対策についてどう考えているのか。今までは屋内にあったが屋外に設置される。男性の水風呂は露天で冬場はかなり低温になる。ハードとソフトの両面での対応が求められるのでは。	① 子どもの利用年齢についてどう考えているのか。 ② 利用時の服装を規定するのか。

令和 8年 2月 24日

高森町議会議長 様

高森町議会議員 河合 隆俊 印

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問項目 I ユースセンター(若者の居場所)の推進について	
【1回目質問要旨】	【2回目以降】
(1)少子化が進む中であっても、地域の未来を担う若者が安心して成長し、自らの可能性を伸ばしていける環境づくりに取り組むことは、本町においても重要である。 第7次振興総合計画「なりたいあなたに会えるまち」の将来像を踏まえ、今後の施策展開の中で、若者の居場所づくりをどのように位置付けていくのか伺う。	① 若者の主体的な活動や人材育成を支える手法の一つとして、ユースセンターが全国で広がりつつあるが、本町におけるユースセンター設置の可能性について伺う。 ② ユースセンター設置の可能性を踏まえて、県の支援制度等も活用しながら、小規模なモデル事業や実証的な取り組みから検討を始める考えについて伺う。 ③ 立地適正化計画の観点から、特に市田駅周辺を若者の居場所づくりの中核拠点として位置づけ、段階的な整備を進める考えについて伺う。 ④ 若者の居場所は、地域住民とのコミュニケーションや多世代交流の場としても活用できる可能性があると考えますが、見解を伺う。 ⑤ 若者の居場所づくりを検討していく場合には、単に場所を整備するだけでなく、企画や運営の段階から若者が関わる視点も重要と考えますが、どのように認識しているか伺う。 ⑥ 今後、若者の居場所づくりの必要性を検討していくうえで、当事者である中高生世代の実態やニーズの把握が重要になると考えるが、その必要性や今後の進め方についての考えを伺う。 ⑦ ユースセンターの機能を支える専門人材であるユースワーカーの確保・育成について伺う。

※別途資料を利用して質問する場合は、質問の正副議長確認時に合わせて確認を受けること

令和 8 年 2 月 24 日

高森町議会議長 様

高森町議会議員

署名 久保田 稔

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問項目 I 町民の健康寿命とゴルフについて	
【1 回目質問要旨】	【2 回目以降】
(1) 町の健康施策としていろいろなものがありました が、長年続いている施策は多くはないか かと思えます。 町民ゴルフの歴史は長く参加者も多いと思 いますが、町としてはどの様な思い・目的で 続けているのか教えて下さい。	① 昨年の町民ゴルフの参加者は約200名でした。ここ数 年の開催などから町のゴルフ人口は把握してい ますか？ ② ネットで日本一ゴルフが盛んな町で検索すると、静岡 県の東伊豆町と出てきます。東伊豆町の町民ゴルフ 大会の参加者は100名以上、町民の1%ということ でゴルフ雑誌の「ゴルフダイジェスト」で取り上げら れています。 高森町の町民ゴルフの町民の参加率は何%でし ょうか？ ③ ゴルフと健康寿命について、ゴルファーはそうで ない人より平均で約5年長生きするという研究結 果もあります。町民ゴルフの参加者の平均年齢は 何歳ですか？ ④ 今後、リニア中央新幹線の開通により、新たに高 森町を訪れる人が増えることが予想されます。信 州たかもり温泉とのコラボレーションや、ふるさ と納税の返礼品としてプレーできる仕組みづく りなども考えられますが、今後の高森町のブラン ディングについて、どのようなお考えをお持ち でしょうか。

※別途資料を利用して質問する場合は、質問の正副議長確認時に合わせて確認を受けること